

募 集 要 項

氏 名：須賀涼太	研究室：第 4 研究室棟 314
専 攻 分 野：商学	
演習テーマ：マーケティング	E-mail：rsuga@cc.kyoto-su.ac.jp

演習内容・主なテキスト

演習のテーマ

本演習で取り扱う研究テーマは、**マーケティング**です。マーケティングについて広く取り扱い、研究を行います。

本演習では「**学びを実践する、そして実践から学ぶ**」ことを重視します。実践とは、例えば、企業へのヒアリング調査や産学連携活動、ビジネスコンテストへの参加を通してマーケティングの実際を知り、そこでの課題について提案活動を行うことです。教科書や論文での学びを実践し、そして実践の結果を再度教科書や論文にぶつけ、学びを進めます。

さらに「**自ら学ぶ**」事を大切にします。自ら学ぶとは、関心のある現象に対して、仮説的な問いを持ち、自らの力で調査し、分析を行い、確かめることです。例えば、本演習では、そのために必要な仮説の立て方、調査方法の習得を目指します。特に、質問紙(アンケート)調査を主に取り上げ、**きちんと**質問紙調査が計画・設計でき、簡単な分析ができるようになることを目指します。

2024 年度は、演習 2 にて、淡路市との産学連携プロジェクトに参加し、淡路市の課題発見を行い、新商品開発や新サービスの提案、観光資源利活用案の提案、既存ブランドのプロモーションやリブランディングに取り組んでいる最中です。また、演習 3.4 では S カレ (Student Innovation College) に参加しています。

主なテキスト

池尾恭一、青木幸弘、南千恵子、井上哲浩 (2013)『マーケティング』有斐閣。

<演習 1>

演習 1 では、マーケティングの基礎的な考え方を復習します。具体的には、皆さんの関心のある企業の活動や商品・サービス、もしくは消費者行動などについて取り上げ、マーケティング関連科目の講義で既に習ったことと照らし合わせて、事例・業界研究を行います。2024 年度は、マーケティング・ショートケースを用いて事例分析を行いました。

基本的には、グループで活動することを想定しています。グループでの討論の仕方や、PowerPoint の作成・発表の仕方についても併せて学びます。

<演習 2>

演習 2 では、演習 1 の内容を深堀することに加え、調査方法と簡単な分析方法について学びます。また、演習 2 よりプロジェクトベースで演習を進めます。年度によりどのような課題を扱うかは変化がありますが、2024 年度は、淡路市との産学連携プロジェクトに参加し、淡路市の課題発見を行い、新商品開発や、新商品開発や新サービスの提案、観光資源利活用案の提案、既存ブランドのプロモーションやリブランディングに取り組んでいる最中です。来年度も継続して取り組む予定です。

<演習 3>

演習 3 以降は、それぞれのグループごとにビジネスコンテストに参加したり、マーケティング学会発表を目指し研究を行ったりします。ここでは、グループごとの特徴や皆さんの意向を踏まえて、適切なプロジェクトを選択します。

コンテストでは、大学ゼミ対抗のインターカレッジである S カレといったマーケティングコンテストに参加し、連携する企業の課題発見、提案に取り組みます。

マーケティング学会発表では、日本マーケティング学会でのポスター発表を目指し、最新の研究に取り組みます。学会は、研究者や実務家に参加し、マーケティングについて議論する場所です。

<演習 4>

演習 4 では、継続して各グループの活動を進めていきます。特に、コンテストに向けての準備に取り組みます。担当教員に対しての進捗報告を定期的に行うだけでなく、他グループへの発表を行うことで、プレゼンスキルの向上を目指します。また、その際には聞き手も、よい質問やよい議論ができるようにトレーニングします。

<演習 5・6>

演習 5、6 では、卒業論文を執筆します。まず、文献の調査を行ったり、二次データを取得したりして、これまでの取り組みを踏まえて、どのような論文を書きたいか、書けるかを議論します。また、自らデータを取得して、分析することを卒業論文には求めます。

教員からの要望

せっかくならとことん勉強・研究しませんか？そして自分の未来を、世界を変えてみませんか？

履修希望科目

マーケティング入門及びマーケティング概論を履修していることが望ましいです。また、「社会調査法」や「マーケティング・リサーチ」の履修を推奨します。

教員の自己紹介

研究等については本学 HP 教員情報を参照ください。

2022 年に着任しました須賀涼太です。専攻はマーケティングです。愛媛県出身です。好きな食べ物はタコ、きゅうり、からあげです。

ゼミ生からの紹介

ゼミの雰囲気についてはゼミ生が運営しているインスタグラムを参照してください。ゼミポスターにリンクを貼っています。

教員の様子、実際の学びの内容については、オープンゼミやオフィスアワーを活用してください。